

No.30
2019
9/10



はちおうじ

JR東労組
八王子地本
八王子地本
ホームページ
「東労組八王子」で検索



八王子地本2019政策フォーラム



2019年9月7日 国分寺労政会館

9月7日、国分寺労政会館にて「政策フォーラム2019」を開催し、各支部の代表と営業部会からの提言を基に活発な発言が出されました。

第1セッション ◆テーマ「安全」～経験に基づいた教育の再確立と技術・技能伝承できる体制づくり～

- 提言①：八王子支部 拝島 CTC センター分会
「職場の指導・教育体制を改めて考える」～新たなジョブローテーションに抗する～
- 提言②：営業部会選出 八王子駅分会
「安全で安定した輸送サービスを提供できる八王子駅を目指して」
- 提言③：甲府支部 政策フォーラムプロジェクト
「ジョブローテーションのその先にあるものは?!」

- 「指導員・教育担当とはどうあるべきか」を議論し、乗務員からの負託に応えられる指導員・教育担当の必要性を認識する事が重要である。
- 地方議員との意見交換を行い、峡東3駅の通過を踏まえて利用しづらい施策の中お客さまに不便をかけていることや、ガードマンが車いす対応など社員と同じ仕事をしている中で、本当に今のJR東日本は安全・サービスが提供できるのかと危惧している。
- 「変革2027」の中のワンマン施策として職場で議論を深めてきた。運転士・車掌などそれぞれの職名の中で仕事を行なうことにより安全が担保されていく。公共交通機関としてお客さまの命を守り運転再開を目指すのか、システムだけに頼らず人が介入して判断する事に着目しなくてはならない。
- 駅に人が居ないという事はということなのか考えなければいけない。ワンマンになれば運転士が全て1人でやらなくてはならない。人を削ることが良い事なのか、原点から議論を巻き返さなければいけない。

第2セッション ◆テーマ「健康・働きがい」～安心して働ける労働環境の実現～

- 提言④：立川支部 立川運転区分会
「充実した住環境を整え鉄道安全と労働安全を守れる企業文化を創造しよう！」
- 提言⑤：支社支部
「フレックスタイム制の検証」

- フレックスタイム制については自由度があるのは事実だが、管理者が先に帰ってしまうと事前申告以外の超勤は超勤とみなさないとされている。業務量を加味せず「超勤を減らせ」と言ってくる。サテライトオフィスの使用のノルマ化なども行われている。
- 「持ち家制度」と会社は謳っているが、家を買える余力は到底ない。2022年4月には社宅を出ていかななくてはならない制度が迫ってきている中で、多くの組合員は悩んでいる。
- 横浜のあるJRステーションサービスの職場では、年休消化のために会社側が年休の時季指定を行なっている。また、年休を3日時季指定した内2日年休が入らない勤務指定が行われたが、年休が使用したことになっている事象が発生していると聞いた。

提言実現に向けて職場の運動から交渉事案に高めよう！！